

教材名	六千人の命を救った決断 杉原千畝	教科書	光文書院（教出、日文）	学年	6年
内容項目	公正、公平、社会正義	誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。			
内容項目のとらえ方 (子どもの実態を踏まえ)	多くの人たちの思いや願いや行動がつながりあって、ともに差別や偏見のない社会、正義の実現をめざす大きな力となっていくことを、杉原千畝の行動やそれを受け継いだ人たちの姿を通して子どもたちに実感させたい。				
授業の展開					
子どもたちの活動			指導上の留意点		
<p>1, 物語を読む 読んでいてわかりにくい箇所については質問する。</p> <p>2, NHK「その時歴史が変わった」(You Tube版)を観て読んだ内容を深く理解する。</p> <p>3, 杉原千畝を決断させたのは何だったかを考えワークシートに書き、発表する。</p> <p>4, 果たして杉原一人でこの救出劇は実現したのだろうか。他にどんな協力があつたのか想像してみる。</p>			<p>まず、当時の時代背景（ナチスドイツの行為、ホロコーストなど）をふまえ、杉原千畝の行動を十分に理解できるように、テレビ番組「その時歴史が変わった」(You Tube版)などを活用し、できれば教科書の中身を補強する部分を中心に編集して子どもたちに見せる。(時間的な制約も考慮して)</p> <p>日本が支配していた満州に勤務していたとき、日本人による中国人への蔑視や差別に、彼が心を痛めていたことに気づかせる。 何人かに意見を言ってもらおう。</p> <p>どういふルートでユダヤ人たちが逃れていったかを伝える。杉原の行動のきっかけとなった人、それを受け継いだ人たちを紹介する。</p>		
<p>①ヤン・ズヴァルテンディク：杉原と同時期、リトアニアでオランダ領事代理をしていた。ビザなしでオランダ領へ行くための書類を作ってユダヤ人たちをトルコ経由で逃がした。その後トルコが通過を拒否したために、人々は杉原の元を訪れた。</p> <p>②根井三郎：ウラジオストク日本領事館領事代理。シベリア鉄道で杉原の書いた書類を握りしめウラジオストクに押し寄せるユダヤ人に、渡航証明書を発給し日本の敦賀へ送り出した。</p> <p>③大迫辰雄：ジャパン・トラベル・ビューロー（現 JTB）社員。敦賀までの連絡船で十数回にわたってユダヤ人たちの渡航の世話をした。(★JTBグループサイト Colors に動画あり)</p>					
<p>5, 同じように当時ナチスからユダヤ人を守った人がいたことを知る。</p> <p>6, 授業の感想を出しあう。</p>			<p>オスカー・シンドラー（1100人以上のユダヤ人を自身の工場におき、収容所送りを阻止し多くの命を救った。1993年スティーブン・スピルバーグ監督によるアメリカ映画「シンドラーのリスト」のもとになる人物）などについて話して終わる。</p>		